

第77回 研究倫理審査委員会【議事要旨】

日時 平成28年5月13日（水）午後13時30分～午後15時30分
場所 本学 大会議室
出席者 (外部委員) 内藤 富夫 委員
三代 美知子 委員
三宅 孝之 委員
(内部委員) 若崎 淳子 委員長
佐藤 公子 副委員長(欠席)
橋本 由里 委員
秦 幸吉 委員(欠席)
藤田 小矢香 委員
(記録) 宇原 均 (事務室管理課)

〈議事〉

1. 委員長、副委員長の互選について

委員長に若崎委員が、副委員長に佐藤委員が選出された。

2. 申請書（1件）の審査について

1) No. 178

申請者：梶谷 麻由子

課題名：育児休業から職場復帰した看護職の実態調査

結果：【条件付き承認】とする。

なお、結果を伝える際に、以下のことを申し添えた。

- ・ヒアリングで出た意見について検討いただき、修正いただいたものを、再度審査委員会で確認させていただきたい。

(主なヒアリング内容)

(委員) P5「研究終了後」とはいつの時点か？

(申請者) 研究を発表後と考えている。

(委員) P11「貴施設」は誤りではないか？

(申請者) 「当施設」など表現を改めたい。

(委員) 同意書と撤回書は同一の人が記載するようにされたい。

(申請者) 施設管理者、責任者など同一の方とする。

(委員) 無記名で提出されたものを撤回された時どうやって回収するのか。

(申請者) 無記名なため一旦集約すると回収は難しい。撤回の期限を検討し明記し

たい。

(委員) 施設数は1200だが、看護師は何名くらいから集めるのか。研究者一人で処理、保管できるのか。

(委員) 200床以上の1200施設とあるがどの様に選ぶのか。選出方法によっては「都市部に集中」した場合など結果に影響が出るのではないか。抽出方法をどこかに記載すると良い。

(委員) 「客観的な結果」と言えるように各施設の中で看護師にどの様に配付するかなども決めておいた方が良いのでは。

(委員) 調査項目が本当に信頼性があるものか。問1から13の項目で本当に「実態」といえるか。調査票について信頼性のあるものを。例えば問7では学歴を問うているが、選択項目は学位まで選ぶようになっている。問12も世帯を選択するようになっているが選択項目がなぜこの選択肢なのか。

(委員) P14では内容まで聞いている。自由記載では回答する側も考えながら書かなくてはならない。項目を列挙し□にチェックを入れてもらう形式の方が答えやすい。集計もしやすいと思う。

(委員) P5 「研究成果を口頭で・・・」文章をわかりやすくしてほしい

(委員) 連絡先には職名を加筆した方が良いと思う。

(委員) 「及び」「および」「並びに」等混在しているので統一を

(委員) P2 (1)「個人特定」(3)「負担が生じる」具体的な記載を

(委員) P13「データはすべて記号にして」どういうことかわかりやすい記載を

(委員) これは審査意見と言うよりもアドバイスですが、依頼文書についてちょっと高圧的に感じます。どこにも、「お願いします。」「協力していただけるのであれば記載を・・・」等の表現がない。

(委員) 文科省の科研費を受けてというのも要らないかもしれません

(申請者) 検討し、修正します。

(その他)

次回委員会の開催日について

次回(第78回)委員会は、6月9日(木)となる。

～ 以上 ～

議事記録者名(事務室管理課：宇原 均)